

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 5 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 8 月 4 日(2023.8.4)

【公開番号】特開 2022-35362(P2022-35362A)
【公開日】令和 4 年 3 月 4 日(2022.3.4)
【年通号数】公開公報(特許)2022-039
【出願番号】特願 2020-139615(P2020-139615)
【国際特許分類】

F 1 6 F 15/129(2006.01)

10

F 1 6 F 15/123(2006.01)

F 1 6 D 13/64(2006.01)

【F I】

F 1 6 F 15/129 C

F 1 6 F 15/123 A

F 1 6 D 13/64 A

F 1 6 D 13/64 G

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 7 月 24 日(2023.7.24)

20

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 4】

前記摩擦部材は、前記第 1 弾性部材の前記第 1 回転方向側の端面に当接する第 1 当接部と、前記第 2 弾性部材の前記第 2 回転方向側の端面に当接する第 2 当接部と、を有している、

請求項 1 から 3 のいずれかに記載のダンパ装置。

30

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0048

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0048】

4 つのストッパ用突起 42b は、フランジ 42 の外周面から径方向外方に突出して形成されている。各ストッパ用突起 42b が形成された位置は、各収容部 401, 402 の円周方向の中央部の径方向外方である。そして、入力側プレート 30 とハブフランジ 40 とが互いに相対回転した際に、ストッパ用突起 42b が第 1 プレート 31 のストッパ部 31a に当接することにより、入力側プレート 30 とハブフランジ 40 との相対回転が禁止される。

40

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0091

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0091】

図 15 は、振り角度 1° から中立状態に移行した状態を示している。ここでは、入力側プレート IP は摩擦部材 FP とともに、中立状態に戻り、この間は、ヒステリシストルク

50

は発生しない。

【手続補正 4】

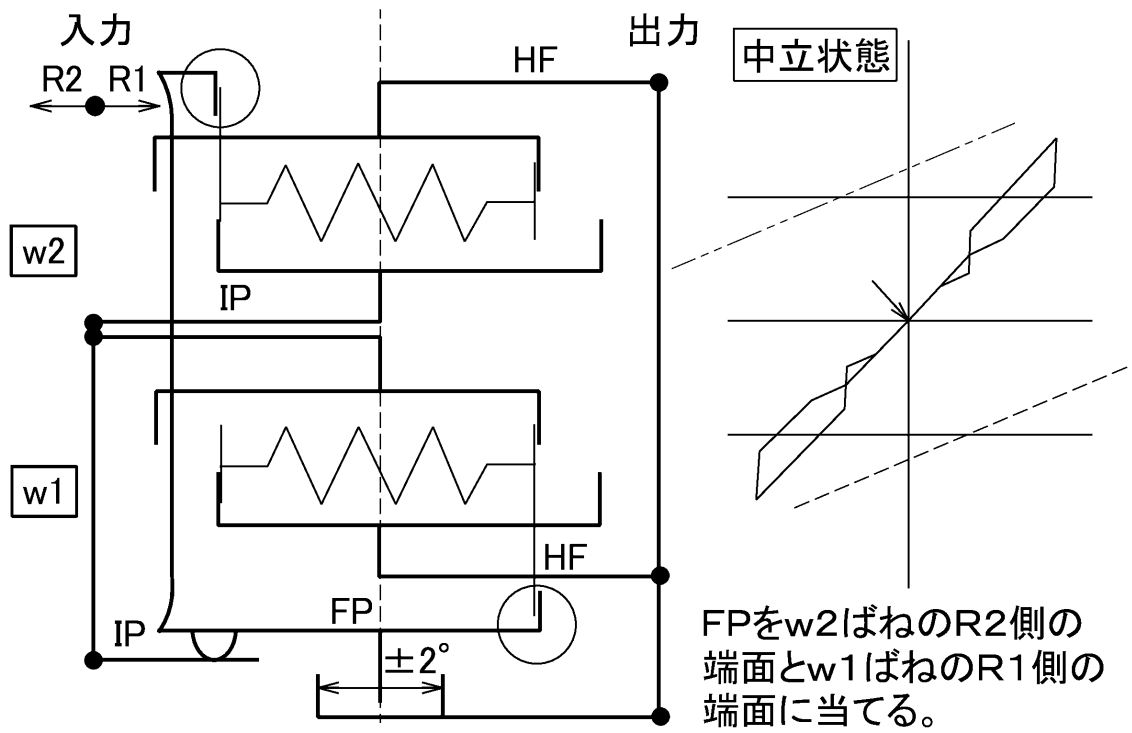
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 8】



10

20

30

40

50